

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-279717

(43) 公開日 平成9年(1997)10月28日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
E 0 4 B 1/98			E 0 4 B 1/98	P
2/56	6 0 1		2/56	6 0 1 B
				6 0 1 H
	6 0 4			6 0 4 B
	6 0 5			6 0 5 Z
審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁) 最終頁に続く				

(21) 出願番号 特願平8-90835

(22) 出願日 平成8年(1996)4月12日

(71) 出願人 000166432

戸田建設株式会社

東京都中央区京橋1丁目7番1号

(72) 発明者 伊藤 博之

広島県広島市中区舟入本町1-9 戸田建

設株式会社広島支店内

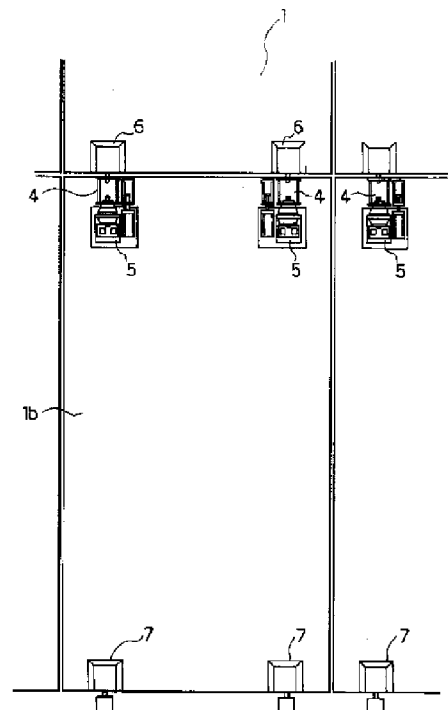
(74) 代理人 弁理士 佐々木 功 (外1名)

(54) 【発明の名称】 P C壁板の取付構造

(57) 【要約】

【課題】 P C壁板の防振ゴムへの均等な載置ができるとともに、防振ゴムの締付管理が容易にでき、しかも P C壁板側から躯体側への固体伝搬が防止できる P C壁板の取付構造を提供することである。

【解決手段】 躯体2側に取り付けられた躯体側ファスナー5の取付面10を挟むようにしてその上下に防振ゴム11が取り付けられ、該防振ゴム11の上面に P C壁板側ファスナー4が載置された状態でボルト止めされたことである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 躯体側に取り付けられた躯体側ファスナーの取付面を挟むようにしてその上下に防振ゴムが取り付けられ、該防振ゴムの上面にPC壁板側ファスナーが載置された状態でボルト止めされたことを特徴とするPC壁板の取付構造。

【請求項2】 前記PC壁板側ファスナーはPC壁板の上部に取り付けられ、PC壁板側ファスナーに上側のPC壁板の下部ファスナーが接続されて上下のPC壁板が接合されたことを特徴とする請求項1に記載のPC壁板の取付構造。

【請求項3】 前記PC壁板が外壁に取り付けられる二重壁であることを特徴とする請求項1又は2に記載のPC壁板の取付構造。

【請求項4】 前記PC壁板がカーテンウォールであることを特徴とする請求項1又は2に記載のPC壁板の取付構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はPC壁板の取付構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】外部からの振動や騒音を防止する遮音構造として外壁に適宜間隔をもってPC壁板を取り付ける二重壁構造がある。このPC壁板の取付構造は、図8に示すように、躯体側ファスナー21の上に防振ゴム22をのせ、該防振ゴム22の上にPC壁板側ファスナー23を載せて取り付けられている。すなわち防振ゴム22を躯体側ファスナー21と壁板側ファスナー23とで上下から挟むようにして取り付けられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、このような取付構造では以下のような問題がある。

- ①PC壁板の防振ゴムへの均等な載置が困難である。
- ②防振ゴムの締付管理が難しく、締付量の調整、変位量の確認ができない。
- ③PC壁板側ファスナー及び躯体側ファスナーとも防振ゴムを介してボルト締めとなっているので、固体伝搬が防止できない。
- ④防振ゴムの強度が期待できない。

【0004】本発明は、このような問題に鑑みてなされたものであり、その目的は、PC壁板の防振ゴムへの均等な載置ができるとともに、防振ゴムの締付管理が容易にでき、しかもPC壁板側から躯体側への固体伝搬が防止できるPC壁板の取付構造を提供することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】以上の課題を解決するための手段は、躯体側に取り付けられた躯体側ファスナーの取付面を挟むようにしてその上下に防振ゴムが取り付けられ、該防振ゴムの上面にPC壁板側ファスナーが載

置された状態でボルト止めされたことであり、前記PC壁板側ファスナーはPC壁板の上部に取り付けられ、PC壁板側ファスナーに上側のPC壁板の下部ファスナーが接続されて上下のPC壁板が接合されたことであり、前記PC壁板が外壁に取り付けられる二重壁であり、前記PC壁板がカーテンウォールである。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明のPC壁板の取付構造の実施の形態の一例を図面に基づいて詳細に説明する。図1はPC壁板を躯体に取り付けた背面図、図2はファスナーの正面図、図3は取付構造の断面図、図4の(1)は防振ゴムの断面図、同図の(2)は防振ゴムの取り付け状態の断面図、図5はファスナーの取り付け方法を示す斜視図である。

【0007】図1及び図2はPC壁板1が二重壁として躯体2の外壁3に取り付けられた状態を示すものであり、PC壁板1の上側がPC壁板側ファスナー4で躯体側ファスナー5に吊り下げられると共に、PC壁板1の下側が下部ファスナー6で下側のPC壁板のPC壁板ファスナー4に接続されている。

【0008】躯体側ファスナー5は躯体2の固定板8にボルト9で固定され、取付面10には上側の防振ゴム11aと下側の防振ゴム11bとが取付面10を上下から挟み付けるようにして取り付けられている。前記上側の防振ゴム11aは取付面10との間に半割りのワッシャ12を介して取り付けられ、下側の防振ゴム11bは突部11cが取付面10の孔13に嵌入されて取り付けられている。

【0009】そして上側の防振ゴム11aの上面に上部プレート14を介してPC壁板側ファスナー4が載置され、これが防振ゴム11を貫通した締付ボルト15で躯体側ファスナー5に固定されている。したがってPC壁板側ファスナー4は取付面10を挟んだ防振ゴム11を介して躯体側ファスナー5に取り付けられている。

【0010】また上側のPC壁板1の下部は下部ファスナー6の接続ピン16がPC壁板側ファスナー4上面のルーズホール17に挿入されて上下方向にのみ動くようになっている。

【0011】前記上側の防振ゴム11aと下側の防振ゴム11bは、図4の(1)に示すような同じ形状であり、躯体側ファスナー5の取付面10に取り付けて締付ボルト15で締め付けると、同図の(2)に示すように外面が膨張した状態で締むので締付量の調整及び変位量が目視でき締付管理が容易にできる。

【0012】これらの取り付けは、図5に示すように、躯体側ファスナー5の取付面10に上側の防振ゴム11aをワッシャ12を介して取り付けるとともに、下側の防振ゴム11bは突部11cを孔13に嵌入して取り付ける。

【0013】そしてPC壁板側ファスナー4を上側の防

振ゴム11aに上部プレート14を介して載せて、防振ゴム11を貫通させた締付ボルト15で固定する。

【0014】次に、この締付ボルト15を締め付けると、図4の(2)に示すように各防振ゴム11a、11bの外表面が膨張して縮むので締め付け程度を目視で確認する。この際、締め付けを一定にするためにトルクレンチを用いるのが望ましい。

【0015】図6は最下部のPC壁板1bの下部の取付構造を示したものであり、前記と同様に最下部ファスナー6の接続ピン16が躯体側ファスナーのルーズホール17に嵌入されて接続されている。こように各PC壁板1は上側が防振ゴム11を介して固定され、下側が上下方向のみ動くようになっているため、各種の振動に対応することができる。また、図7はPC壁板1の縦方向の目地部の断面を示したものであり、シール材18を二重することによって遮音性を高めている。

【0016】また本実施の形態は、外壁3に適宜間隔をもってPC壁板1を取り付けた二重壁の遮音構造について説明したが、これはカーテンウォールを取り付ける場合にも適用することができる。この場合は、前記と同様の構成であり、しかも同様の方法によって取り付けるものとする。

【0017】

【発明の効果】躯体側に取り付けられた躯体側ファスナーの取付面を挟むようにしてその上下に防振ゴムが取り付けられ、該防振ゴムの上面にPC壁板側ファスナーが載置された状態でボルト止めされたにより、防振ゴムの締付管理が容易にできるとともに、PC壁板側から躯体側への固体伝搬が防止できる。

【0018】PC壁板側ファスナーはPC壁板の上部に取り付けられ、その上面に上側のPC壁板の接続ピンが嵌め合わされて上下のPC壁板が接合されたことにより、PC壁板の防振ゴムへの均等な載置ができるととも

に、取付精度の向上を図ることができる。

【0019】PC壁板が外壁の外側に取り付けられる二重壁であることにより、防振及び遮音効果を高めることができる。

【0020】PC壁板がカーテンウォールであることにより、PC壁板側から躯体側への固体伝搬が防止できるとともに、遮音効果の高いカーテンウォールが提供できる。

【0021】防振ゴムの鉛直及び水平方向の強度を確保することができる。

【0022】PC壁板の取り付けを外側から行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】PC壁板を躯体に取り付けた背面図である。

【図2】ファスナーの正面図である。

【図3】取付構造の断面図である。

【図4】(1)は防振ゴムの断面図、(2)は防振ゴムの取り付け状態を示す断面図である。

【図5】ファスナーの取り付け方法を示す斜視図である。

【図6】(1)は最下部のPC壁板の下部の取付構造の断面図、(2)は躯体側ファスナーの斜視図である。

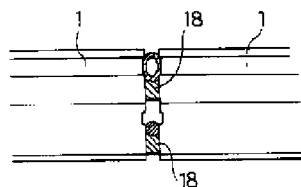
【図7】PC壁板の目地部の断面図である。

【図8】従来の取付構造の断面図である。

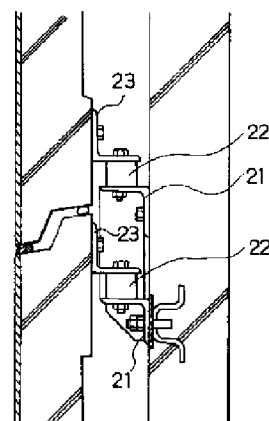
【符号の説明】

- 1 PC壁板
- 2 躯体
- 3 外壁
- 4、23 PC壁板側ファスナー
- 5、21 躯体側ファスナー
- 6 下部ファスナー
- 11、22 防振ゴム

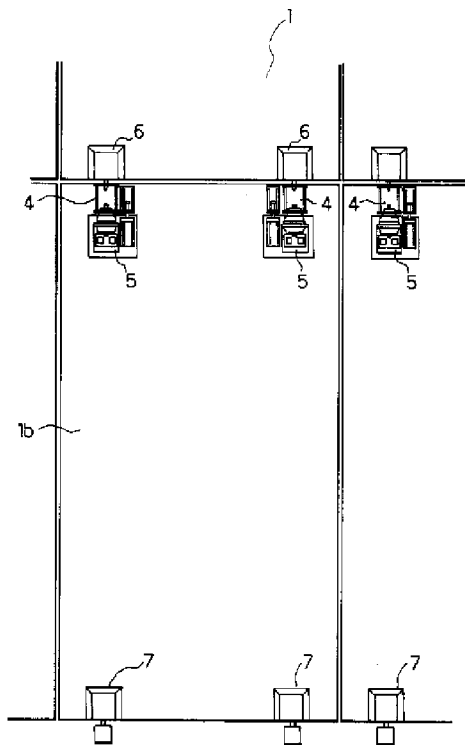
【図7】



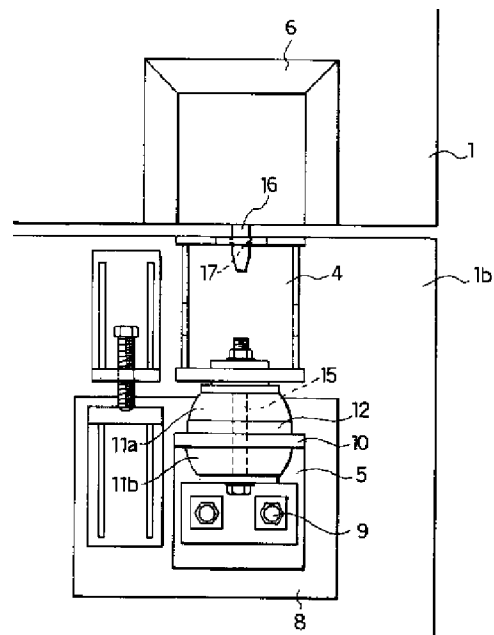
【図8】



【図1】

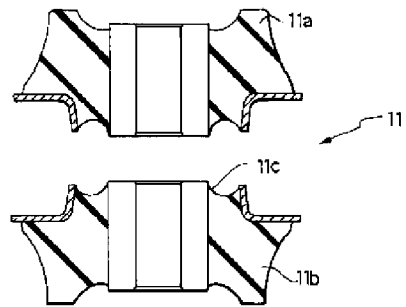


【図2】

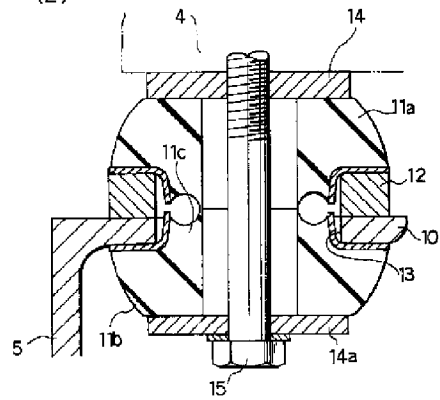


【図4】

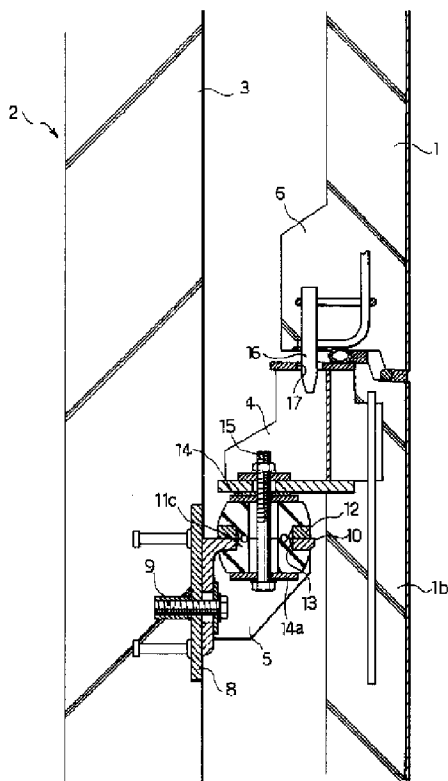
(1)



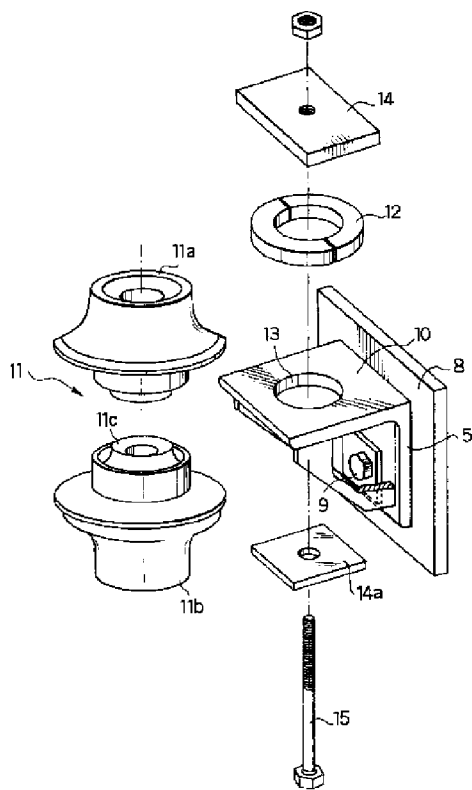
(2)



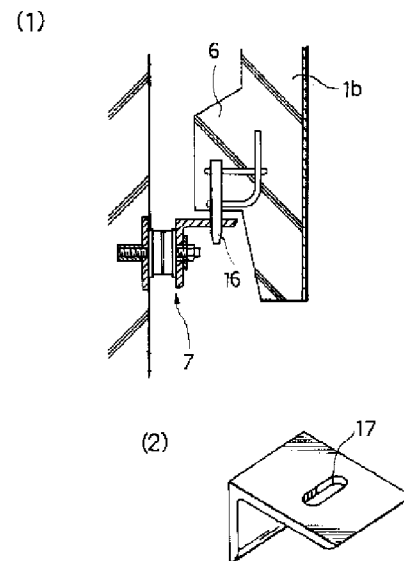
【図3】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所	
E 0 4 B 2/56	6 2 1		E 0 4 B 2/56	6 2 1 A	6 2 1 J
	6 4 3			6 2 1 L	6 4 3 F
		8913-2E		1 0 1 B	1 0 1 Y
E 0 4 F 13/08	1 0 1	8913-2E	E 0 4 F 13/08		

PAT-NO: JP409279717A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09279717 A
TITLE: MOUNTING STRUCTURE OF PC
WALL PANEL
PUBN-DATE: October 28, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
ITO, HIROYUKI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TODA CONSTR CO LTD	N/A

APPL-NO: JP08090835
APPL-DATE: April 12, 1996

INT-CL (IPC): E04B001/98 , E04B002/56 ,
E04B002/56 , E04B002/56 ,
E04B002/56 , E04B002/56 ,
E04B002/94 , E04F013/08

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To simplify the mounting and improve vibration and sound isolating effects by mounting a fastener (bracket) having a mounting hole on a skeleton side wall, and screwing a PC wall panel-side fastener to this fastener through a rubber vibration isolator.

SOLUTION: In the mounting of PC wall panels 1, 1b for preventing external vibration and noise on a skeleton wall 3, a fixed plate 8 is fixed to the skeleton wall 3, and a fastener (bracket) 5 having a through-hole 13 is mounted on the fixed plate 8. A vertically divided rubber vibration isolator is installed to the through-hole 13, and a PC wall board side fastener 4 is fixed through a half washer 12 and a plate 14 by a bolt 15. The lower PC panel 1b is mounted on the skeleton wall 3, and the upper PC wall panel 1 is mounted thereon through a connecting pin 16 and a sealant in such a manner as to be slightly vertically movable. This mounting structure is applicable to mounting of not only the PC wall panel 1 but also a curtain wall. Thus, a mounting structure easy to construct and having high vibration and sound isolating effects can be provided.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO